



葛飾区立 小松南小学校

# 改築のための基本的な考え方(案)

---



教育委員会事務局学校施設課

# 改築のための基本的な考え方（案）とは

新しい校舎の整備方針や予定諸室、配置案など、小松南小学校の改築を進めるにあたっての基本的な考え方を取りまとめたものです。

## 改築のための 基本的な考え方

(1) 小松南小学校改築における課題

(2) 小松南小学校改築の方向性

(3) 施設整備の基本方針

(4) 施設の機能向上に向けた取組み

(5) 予定諸室等

(6) 配置比較

(7) ゾーニング案

# I 敷地条件

名称	葛飾区立小松南小学校
所在地	葛飾区新小岩2-25-1
敷地面積	約6,373㎡
最寄駅からのアクセス	JR総武線「新小岩駅」から徒歩約7分
用途地域	第一種住居地域
指定容積率	300%
建ぺい率	60%
防火指定	準防火地域
高度地区	第3種高度地区
日影規制	5.0h-3.0h/4m
東京都建築安全条例に係る規制	第四条：延べ面積が3,000㎡を超え、かつ、建築物の高さが15mを超える場合は幅員6m以上の道路に10m以上接道しなければならない。 上記を満たす
通学区域	新小岩一丁目全域、新小岩二丁目全域、新小岩三丁目全域、新小岩四丁目全域



図 小松南小学校通学区域

通学区域

0 100m

## Ⅱ 改築のための基本的な考え方

### (1) 小松南小学校改築における課題

- 区内で最も敷地面積が狭<sup>きょう</sup>あい
- 学校運営を継続しながら改築事業を進めた場合
  - ・ 工事エリアと学校運営エリアとが近接し、改築期間中の教育環境が厳しくなる
  - ・ 児童数の増加に伴い必要教室数の確保が困難な状況

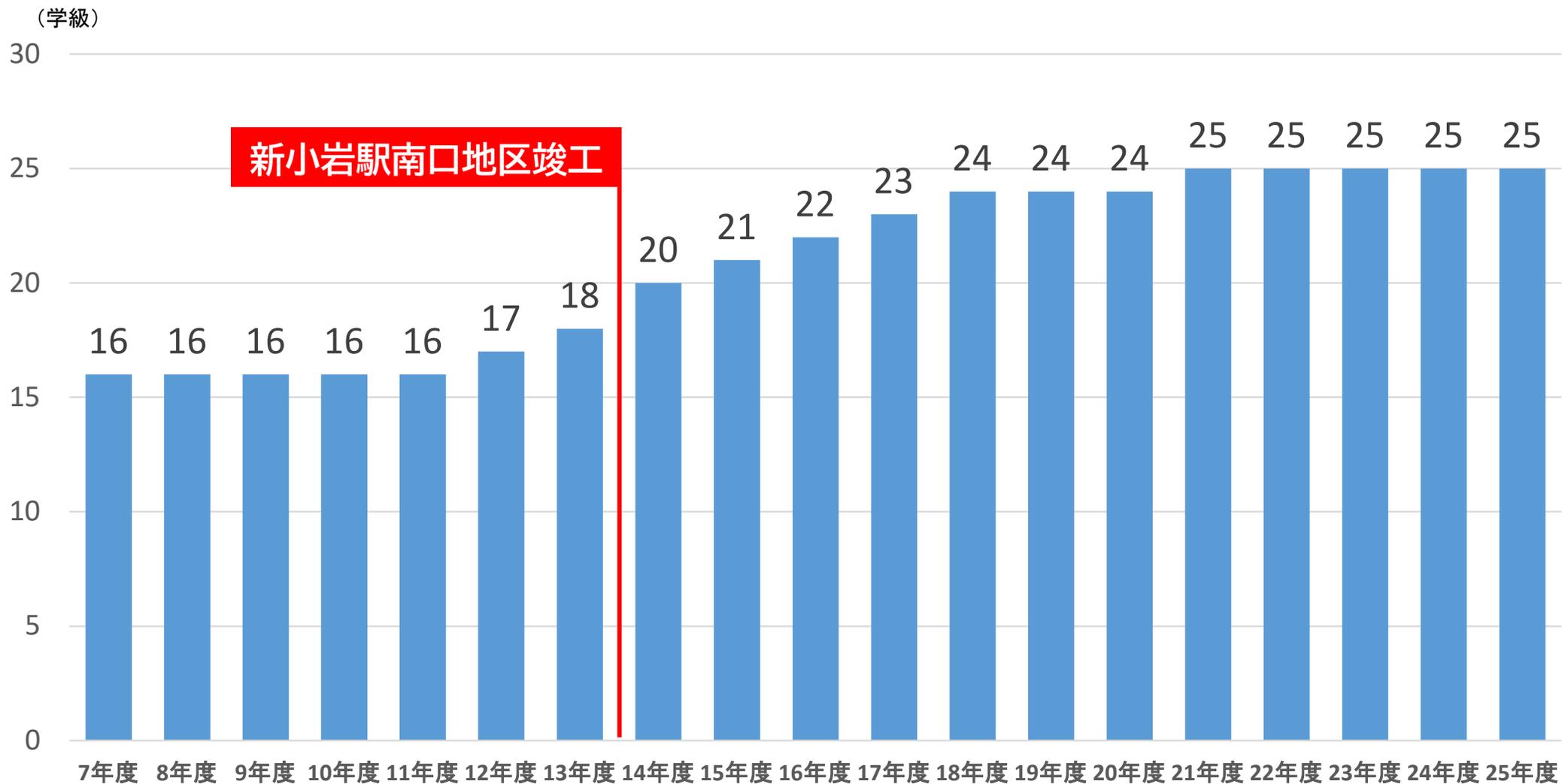
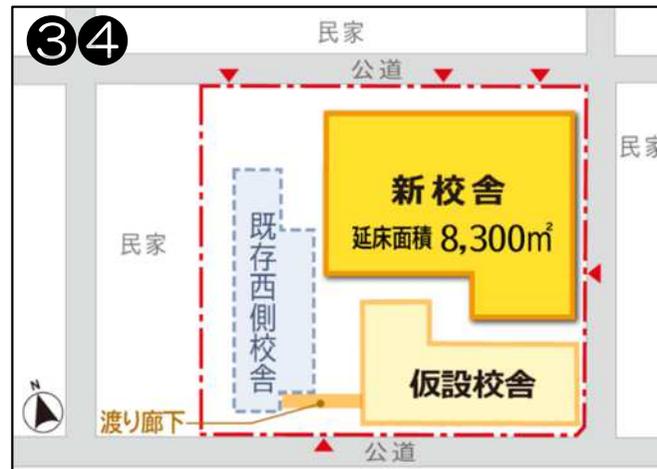
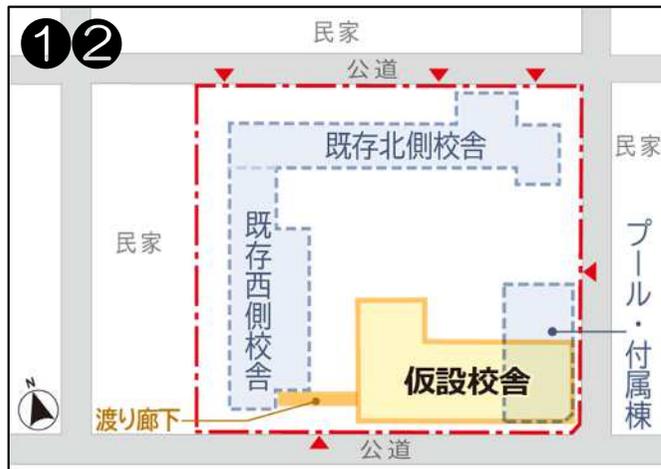


図 小松南小学校 (学級数推計)

# 1) 小松南小学校敷地単独での建替え方法の検証

## ● Aパターン

- 新校舎建設中の学校運営：仮設校舎と既存西側校舎で行う



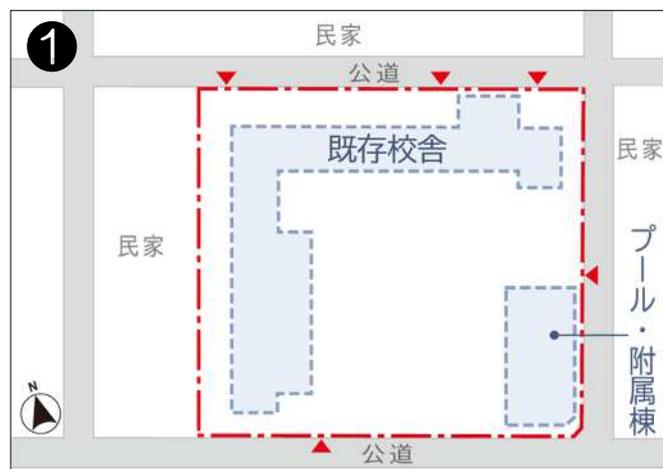
- ① 既存のプール・付属棟を先行解体
- ② 校庭南東端に仮設校舎を建設、既存西側校舎の1・2階と渡り廊下で接続

- ③ 既存北側校舎を解体
- ④ 空いた敷地に新校舎を建設

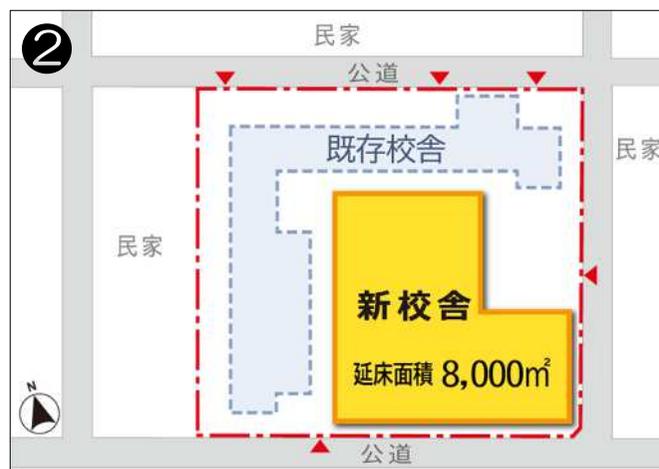
- ⑤ 既存西側校舎を解体し、校庭（120mトラック）を整備

## ● Bパターン

- 新校舎建設中の学校運営：既存校舎で行う



① 既存のプール・付属棟の解体



② 空いた敷地に新校舎を建設



③ 既存西側校舎を解体し、校庭（120mトラック）を整備

## 2) 建替え方法の検証結果

### ●Aパターン

- 仮設校舎建設段階から既存校舎・仮設校舎解体まで校庭を使用できない
- 施工ヤードが狭小であり、工事エリアと学校運営エリアが近接する
- 新校舎の延床面積が必要学級数（25学級）を満たす9,400㎡に達していない（約8,300㎡）
- 校庭がL字型の配置となり、効率的な活用が難しい

### ●Bパターン

- 新校舎建設段階から改築事業終了まで校庭を使用できない
- 施工ヤードが狭小であり、工事エリアと学校運営エリアが近接する
- 新校舎の延床面積が必要学級数（25学級）を満たす9,400㎡に達していない（約8,000㎡）
- 校庭がL字型の配置となり効率的な活用が難しく、120mトラックの配置もコーナーが厳しく余裕がない

Aパターン、Bパターンともに、必要な延床面積(9,400㎡)が確保できないため、

 小松南小学校敷地単独での建替えは困難

## (2) 小松南小学校改築の方向性

- ① 新校舎：通学区域の中心に位置する現小松南小学校敷地に建設
- ② 工事期間中：近接する旧松南小学校敷地を活用し、学校運営を行う
- ③ 旧松南小学校敷地の活用手法：改築事業終了後の跡地活用ニーズを踏まえ決定する



図 改築手順イメージ

## (3) 施設整備の基本方針

- 1) 配置計画等の工夫により、  
児童がのびのびと活動できる学校づくり
- 2) 地域との連携を継承し、愛され続ける学校づくり
- 3) 地域の中心として防災機能を充実させるとともに、  
誰でも使いやすい校舎整備

# 1) 配置計画等の工夫により、 児童がのびのびと活動できる学校づくり

- ① コンパクトで動線の短い校舎とし、  
普通教室を4階以下に配置することで、  
児童や教職員の移動の負担軽減を図る
- ② 現在よりも広く整形で使いやすい校庭の整備に加え、  
屋上などの有効活用を検討し、  
敷地の狭さを感じさせない環境づくりを目指す
- ③ 多目的スペースの整備に加え、可動式のパーテーション等により、  
教育ニーズの変化等に柔軟に対応できる校舎とする

## 2) 地域との連携を継承し、愛され続ける学校づくり

- ① 防災・見守り・交流などにおいて地域と連携し、  
活発な活動を継続できるように、  
イベントなどで使いやすい建物や校庭を整備
- ② 地域の方々も利用できるように、  
誰もが使いやすい体育館や地域連携室などの施設を整備
- ③ 新校舎の建設にあたり、  
近隣の住宅への日影、騒音や視線などに十分配慮

### 3) 地域の中心として防災機能を充実させるとともに、誰でも使いやすい校舎整備

- ① 避難所機能を浸水深以上の2階以上に設置するなど、災害時を想定し、耐震性と水害対策を備えた施設配置を検討
- ② 誰もが使いやすい校舎とするため、エレベーターの設置など、上下移動に配慮した施設計画を検討
- ③ 校舎内外の段差を解消などバリアフリーに十分配慮し、誰もが使いやすい施設を整備

## (4) 施設の機能向上に向けた取組み

- 1) 諸室機能の考え方
- 2) 快適で居心地の良い学校づくりの考え方
- 3) 安全・安心な学校づくりの考え方
- 4) 維持管理に配慮した  
簡素で効率的な学校づくりの考え方

## 1) 諸室機能の考え方

- ① グループ学習や発表・討論など様々な学習形態に対応し、児童が能動的に学べる環境とするため、「普通教室」を拡大
- ② 児童が主体的に考え学ぶ自学自習を習慣化できるよう、「学習センター（学校図書館）」を整備
- ③ 特別支援教室に通う児童が小集団で落ち着いて学習できるよう、教室の配置や環境に配慮

## 2) 快適で居心地の良い学校づくりの考え方

- ① 児童の「学びの場」であるとともに、「生活の場」であるため、普通教室は日当たりの良い南面を中心に配置
- ② 快適で居心地の良い空間をつくるため、自然採光や通風を確保し、室内の色彩や形状も工夫
- ③ 潤いのある落ち着いた環境をつくるため、豊かな緑を確保

### 3) 安全・安心な学校づくりの考え方

- ① 地域の避難所としての機能を確保するため、  
災害時を考慮した諸室配置と防災機能を持つ設備の整備
- ② 水害時にも避難所機能を維持できるようにするため、  
体育館は2階以上とし、近接した場所には備蓄倉庫を配置
- ③ 死角をできる限り減らすため、  
職員室、保健室等は、校庭に近く見通しの良い位置に配置
- ④ 児童が放課後などを安全・安心に過ごし、  
多様な体験・活動を行うことができるよう、  
見守りや動線に配慮した環境を整備

## 4) 維持管理に配慮した 簡素で効率的な学校づくりの考え方

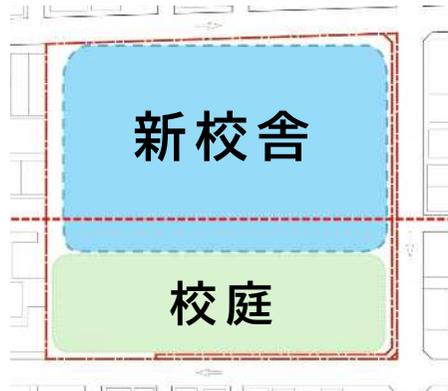
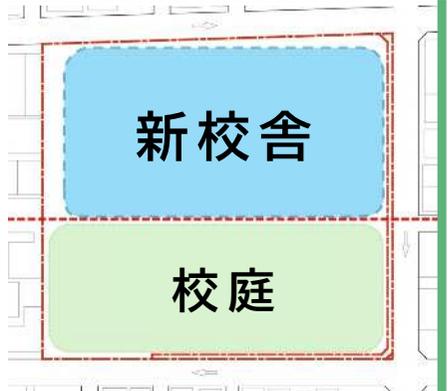
- ① ゼロエミッションかつしか（※1）の実現に向けて、  
「ZEB（※2）」を見据えた高断熱化及び  
高効率な省エネルギー設備を備えるとともに、  
太陽光発電設備をはじめとする再生可能エネルギーを活用
- ② 修繕や更新が容易な施設とするため、  
分かりやすく明快な諸室配置とし、  
長寿命・高耐久、維持管理の容易な部材を採用
- ③ 清掃、点検・保守などの作業を効率的かつ容易にするため、  
設備関係諸室、配管スペースは、面積、形状及び階高等を工夫

## (5) 予定諸室等

予定諸室	普通教室	普通教室:25室、 少人数教室：3室、 特別支援教室：1室
	特別教室	理科室兼生活科室、音楽室、図工室、家庭科室、 学習センター(学校図書館)、教育相談室 等
	屋内運動 施設等	体育館
	管理諸室等	校長室、職員室、事務室、主事室、保健室、会議室、 印刷・資料室、給食室、児童用更衣室、地域連携室等
併設施設		わくわくチャレンジ広場室、学童保育クラブ、備蓄倉庫

## (6) 配置比較

### 1) 校舎階数別比較

階数	A: 3階建て (参考校舎配置：北側)	B: 4階建て (参考校舎配置：北側)	C: 5階建て (参考校舎配置：北側)	D: 6階建て
ポリコームイメージ 校舎・校庭				
校庭面積	約1,800㎡	約2,400㎡	約2,600㎡	約2,750㎡
校庭形状	整形だが、短辺と比較し長辺が長い（他案との比較）	整形	整形	整形
校舎配置	自由な配置が可能	自由な配置が可能	自由な配置が可能	南側配置に限られる（日影規制のため）
校舎内移動距離	垂直移動距離：最も短い 水平移動距離：相対的に長くなる	垂直移動距離：2番目に短い 水平移動距離：相対的に2番目に長くなる	垂直移動距離：2番目に長い 水平移動距離：相対的に2番目に長くなる	垂直移動距離：最も長い 水平移動距離：相対的に短くなる

既存校舎より広い校庭が確保でき、配置の自由度に加え、校舎内の移動の負担等のバランスの取れた、**5階建て**とする

## 2) 校舎配置比較

	基準階(2~4階) ゾーニングイメージ	面積	普通教室の配置	校庭	近隣への影響
A::北側配置(案)		5階建て 建築面積: 約2,550㎡ 延床面積: 約9,500㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭・体育館への移動しやすさ/非常時の避難行動を考慮して、4階以下に配置</li> <li>全て南向きであり、採光/エネルギー効率は優れる</li> <li>校庭に面することで開放感に優れる</li> </ul>	広さ: 約2,600㎡ ・4案で唯一校舎の日影が発生しない	<ul style="list-style-type: none"> <li>南西側において、面する対象が体育館から校庭に変わり、日照は増えるが、校庭の活動音の影響がある</li> <li>真北方向から北西方向において、対面する建物の高さが2階分増えるため、圧迫感を与える恐れがある(体育館と面する北東側の高さは既存校舎と同程度)</li> <li>それを除くと、現在と同程度の影響にとどまる</li> </ul>
B::西側配置(案)		5階建て 建築面積: 約2,500㎡ 延床面積: 約9,500㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭・体育館への移動しやすさ/非常時の避難行動を考慮して、4階以下に配置</li> <li>一部が東向きのため、A案に比べて採光/エネルギー効率は劣る</li> <li>東側は校庭に面するため、比較的良好な環境が得られるが、南側は近隣建物により開放感が低下。また、視線配慮のための設備による閉塞感が発生</li> </ul>	広さ: 約2,600㎡ ・午後から校舎の日影が発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>北東側において、面する対象が校舎から校庭に変わり、日照は増えるが、校庭の活動音の影響がある</li> <li>西面全体において、対面する建物の高さが1階分増えるため、圧迫感を与える恐れがある</li> <li>それを除くと、現在と同程度の影響にとどまる</li> </ul>

	基準階(2~4階) ゾーニングイメージ	階数・ 面積	普通教室の配置	校庭	近隣への影響
C::東側配置(案)		5階建て 建築面積: 約2,500㎡ 延床面積: 約9,500㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭・体育館への移動しやすさ/非常時の避難行動を考慮して、4階以下に配置</li> <li>一部が東向きのため、A案に比べて採光/エネルギー効率は劣る</li> <li>南側・東側ともに近隣建物により開放感が低下。また、視線配慮のための設備による閉塞感が発生</li> </ul>	広さ: 約2,500㎡ <ul style="list-style-type: none"> <li>午前中は校舎の日影が発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西側において、面する対象が校舎・体育館から校庭に変わり、日照は増えるが、校庭の活動音の影響がある</li> <li>真東方向において新たに5階建ての建物に対面し、南東方向に対面する建物の高さが4階分増えるため、圧迫感を与えるとともに、午後の時間帯で日影の影響が新たに発生</li> <li>それを除くと、現在と同程度の影響にとどまる</li> </ul>
		4階建て 建築面積: 約2,550㎡ 延床面積: 約9,500㎡	<ul style="list-style-type: none"> <li>校庭・体育館への移動しやすさ/非常時の避難行動を考慮して、4階以下に配置</li> <li>全て南向きで、採光/エネルギー効率が優れるが、西寄りの教室は体育館の日影の影響が発生</li> <li>校庭に面することで開放感に優れるが、西寄りの教室は体育館に面するため、閉塞感がある</li> </ul>	広さ: 約2,100㎡ <ul style="list-style-type: none"> <li>北側の棟の日影規制を避けるため、最も狭い</li> <li>午後から校舎(西側の棟)の日影が発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北側において、対面する建物の高さが1階分増えるため、圧迫感を与える</li> <li>上記以外は、現在と同程度の影響にとどまる</li> </ul>

配置の基本計画として、**A:北側配置(案)**を採用する。

- 全ての普通教室を南向きに配置することができる。
- 校庭の日当たりが良い。

# (7) ゾーニング案



1階

- 凡例
- |  |   |
|--|---|
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#FFD700; border:1px solid black;"></span> : 学習関係諸室 (普通教室) | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#FFC0CB; border:1px solid black;"></span> : 管理関係室    |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#FFA500; border:1px solid black;"></span> : 学習関係諸室 (特別教室) | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#ADD8E6; border:1px solid black;"></span> : その他付帯施設等 |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#90EE90; border:1px solid black;"></span> : 屋内運動場施設       | <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#D3D3D3; border:1px solid black;"></span> : 共通空間     |
| <span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#ADD8E6; border:1px solid black;"></span> : 生活交流空間 (給食室等) |   |

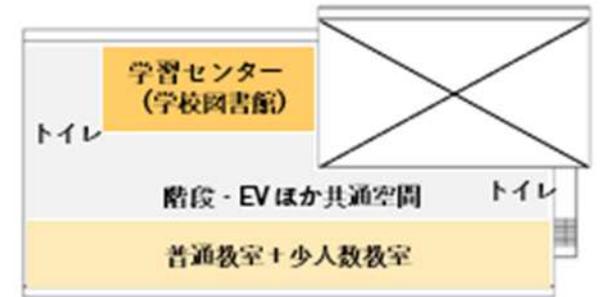
5階



4階



3階



2階



# 用語解説

## ※1 ゼロエミッションかつしか・・・

令和32（2050）年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量  
実質ゼロをめざす宣言

## ※2 ZEB・・・

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）  
の略。建築物における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向  
上や再生可能エネルギーの活用等により削減し、年間消費量が正味で  
ゼロまたはおおむねゼロとなる建築物

ご視聴いただきありがとうございました。



教育委員会事務局学校施設課